

審判員派遣報告書

派遣事業名	第75回全日本大学 バスケットボール選手権大会	派遣期日	令和5年12月7日～8日
報告者	高田 開	派遣先	大田区総合体育館

1. 大会概要

大会名称	第75回全日本大学 バスケットボール選手権大会	大会期間	令和5年12月2日～12月17日
大会概要	各ブロック大会、リーグ戦の順位を元に出場チームを決定。3チームずつリーグ戦の のち、シード校を加えて決勝トーナメントを行う。白鷗大学がアベック優勝を飾っ た。		

2. 担当試合 ※（試合内容は簡潔に書いてください）

日程	令和5年12月7日	会場	大田区総合体育館
審判クルー	CC：石嶺 氏（沖縄） U1：濱口 氏（新潟） U2：高田		
担当試合	（決勝 T 男子 1 回戦）天理大学 vs. 大阪学院大学		
試合内容	プレス DF で相手のミスを生じた天理大学が第1Qで流れを掴む。タフショットを 強いられる大阪学院大学も、ファウルドローンから FT で得点を重ねる。序盤の点差 をキープした天理大学が危なげなく勝利した。		

日程	令和5年12月8日	会場	大田区総合体育館
審判クルー	CC：川島 氏（宮崎） U1：豊島 氏（東京） U2：高田		
担当試合	（決勝 T 男子 2 回戦）白鷗大学 vs. 大阪産業大学		
試合内容	高さやフィジカルの強さで一回り上手い白鷗大学が一気にリードを広げる。大阪産 業大学は3pt シュートで応戦を図るが確率が上がらず。攻撃の手を緩めなかった白鷗大 学が大差で勝利。		

3. 大会（研修会）を通して 《 学んだこと 感じたこと 県内審判に伝えたいこと 等 》

インカレは国内主要大会の中でも注目度の高い大会で、大会終了後、プロ選手となる者も多く大会に参加しており、メディアも大会前から選手、チームに関する情報を多く発信している。選手、チームはもちろん、観客もそうした多くの情報を取り入れたうえで、会場に足を運んだ人も多いと思う。「〇〇大学は××が特徴のチームだ」、「△△選手は□□なプレーに注目」など。このような情報を、選手、チーム、観客は知っているが、審判だけ知らずコートに立つことにはリスクがあると感じた。審判が通常どおりゲームの準備をしていれば、これが直接判定ミス等に繋がることは少ないかもしれないが、知らず知らずのうちに、チームがやりたかったプレーや観客が見たかったプレーを、審判が消してしまうことがあるかもしれない。無論、審判は競技規則に則り、事前情報からのバイアスなどなく判定を続けるが、「良いプレーを残す」ためにも、こうしたメディアの情報もスカウティングの一部として取り入れたいと感じた。従事2日目の男子2回戦からは観客有料であった。審判としてゲームに関わる中で、単に判定を下しゲームを進めるだけでなく、ゲームを商品としてより良いものにする意識を高めていきたいと感じた。

上述の内容に続き、観客としてゲームを見たとき、自身のプレーコーリングには課題が残った。コート上で見えるプレーの景色と、観客席で見る、映像で見る全体感としてのプレーの見え方とのギャップを縮めることを課題としているが、反省としてコールしなくてもよかったものがいくつかあった。レフェリーディフェンスののち、ディフェンスのイリーガルなコンタクトとともにオフenseのRSBQへの影響の大小を見極めるためにも、ファウルとして成立するに必要な3要素すべてを自分の中に揃えられるまでPatient（我慢する）わずかな間を作り、精度を上げていく訓練をしていかなければいけないと感じた。

その他、参加審判員とのカンファレンス、会話で得た学びを記載する。

- ・ ウィークサイドでポストフィードされているとき、リードオフィシャルは必ずしもローテーションする必要はなく、逆サイドへの展開を狙うプレーが多くなるため、ポストをセンターオフィシャルに預け、展開が予測される逆サイドのマッチアップを捉えておくことよい。
- ・ 会場の機材は試合前によく確かめておくべき。今回のゲームのショットクロックは5秒未満で小数点以下を表示する機器だった。この機器の場合、「15」が表示されるまで、8秒バイオレーションの成立の根拠とならない。
- ・ トランジションにおいてゴールテンディング、インタフェアレンスが予測される場合、リードオフィシャルはセットアップポジションまで入らず、ショットされたボールとボード、ディフェンダーの手がいずれも確認できる場所（エンドライン付近）で準備しておくことも一つの手段となる。

4. その他

この度は、表題の大会に派遣いただきまして誠にありがとうございました。日々ご指導、サポートいただいております県内審判員の皆様に深く感謝申し上げます。

今大会で得られた学びを自身の活動に生かし、皆さまに共有して参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。